

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：土木費 項：都市計画費 目：都市公園費

事業名 県営都市公園活性化戦略推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 都市公園・交通局 都市公園課 企画推進係

電話番号：058-272-1111(内4914)

E-mail：c11669@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 36,743 千円 (前年度予算額： 112,798 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	112,798	13,750	0	0	0	0	0	0	99,048
要求額	36,743	0	0	0	0	0	0	0	36,743
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・平成28年10月に、県営4都市公園の持つポテンシャルを最大限に発揮して活性化していくため、「岐阜県都市公園活性化基本戦略(H28～R2)」を策定。
- ・さらに令和3年3月には、残りの2公園を加えた全6公園を対象に「新・岐阜県都市公園活性化基本戦略(R3～R7)」を策定し、活性化の取組を展開。
- ・令和7年度には、活性化基本戦略総括として、全国都市緑化フェアを本県で開催。
- ・緑化フェアにおいて醸成された機運を一過性のものとせず、持続可能な花・みどりの活動を展開していくため、緑化フェアで活躍した「ぎふグリーン・ライフ推進員」や「ぎふグリーン・ライフパートナー」の資質向上及び活動の充実を図る。

(2) 事業内容

①県営都市公園活性化展開事業

国際交流の一環として始まったモロッコガーデンの植栽を行うことで、県営都市公園の魅力向上を図るとともに、継続的な国際交流の象徴として維持していく。

②ぎふグリーン・ライフの推進

ぎふグリーン・ライフ推進員による植栽イベントやワークショップの開催、フォローアップ研修会など、公園の新たな活用に係る事業を実施する。

③県営都市公園活性化・活用検討会開催費用

令和9年度以降の新たな方針・取組に係る意見交換の場として、外部有識者や行政関係者などで構成する岐阜県都市公園活性化・活用検討会を開催する。

（３）県負担・補助率の考え方

県営公園の活性化に係る事業（指定管理者が指定管理者業務として行うものを除く）であり県が主体となって実施する。

（４）類似事業の有無

無

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	1,100	有識者等関係者謝金
旅費	2,105	費用弁償、職員旅費
需用費	2,730	消耗品費、会議費、対外交流費、印刷製本費
役務費	180	通信運搬費
使用料	200	高速料金
委託料	27,928	
負担金	2,500	第43回全国都市緑化フェア出展費
合計	36,743	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

- （１）各種計画での位置づけ
 - ・新・岐阜県都市公園活性化基本戦略(R3～R7)
 - ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（施策編）
 - ３ 地域にあふれる魅力と活力づくり
- （２）次世代を見据えた産業の振興
 - ④世界に選ばれる持続可能な観光地域づくり
- （２）国・他県の状況
 - ・都市公園に関する計画の策定 ７都府県（R6）
- （３）後年度の財政負担
 - ソフト・ハード両面において、継続して活性化策に取り組んでいく。
- （４）事業主体及びその妥当性
 - 県営都市公園の活性化事業（指定管理者が指定管理者業務として行うものを除く）であり県が主体となって実施する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業
☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

緑化フェアによる機運醸成を維持し、6公園合計の入園者数を1,000万人まで底上げする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
公園来園者数	774万人	699万人	734万人	1,000万人	1,000万人	73.4%
養老公園	137万人	119万人	114万人			
里山公園	64万人	62万人	70万人			
河川環境楽園	463万人	419万人	446万人			
ローズガーデン	43万人	39万人	38万人			
百年公園	56万人	50万人	57万人			
各務原公園	11万人	11万人	10万人			

※公園ごとに四捨五入しているため、合計と合致しない場合がある

○指標を設定することができない場合の理由

「新・岐阜県都市公園活性化基本戦略」（R3～R7）が終期を迎えるとともに、新たな方針については、令和8年度中に策定予定であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新戦略の推進等に係る活性化懇談会の開催（12月、3月） ・コロナに対応したイベントやイベント広報等により、県営都市公園の活性化につながる取組を行った。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新戦略の推進等に係る活性化懇談会の開催（6月、7月、11月） ・来園記念セレモニーや周年イベントの開催等により、県営都市公園の活性化につながる取組を行った。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新戦略の推進等に係る活性化懇談会の開催（8月） ・令和7年度の緑化フェアの開催も見据え、来園記念セレモニーや周年イベントの開催等により、県営都市公園の活性化につながる取組を行った。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	緑化フェアによる機運醸成を一過性で終わらせないためにも、県営都市公園の活性化やPR等の施策を実施していく必要がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	新戦略で定めた施策を計画的に実施することができた。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	新戦略で定めた多岐にわたる具体の施策を着実に実行した。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 指定管理者などと連携しながら、県営都市公園の活性化に戦略的に取り組むとともに、多くの方々に活用してもらえ魅力ある公園づくりを実施する。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和9年度以降の新たな方針・取組を見据えた上で、実施する事業を限定するとともに、効率的かつ効果的な展開を図っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	